

身体拘束に対する 意識の定着を目指して

地味でマニアックな委員会の 地道な取り組みと成果

介護老人保健施設 ウイング

身体拘束廃止委員会

発表者 西田 学

共同研究者 高野 秀明

佐々木 昌弘

須田 明敬

はじめに

介護老人保健施設ウイング

東京都府中市 単独型施設

平成11年11月1日開設

入所定員：140名

一般棟 50床2棟

認知症専門棟 40床1棟

通所定員：40名

介護老人保健施設
ウイング

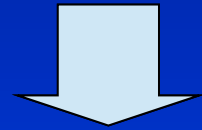
組織理念

「人と社会のケアを通じて、

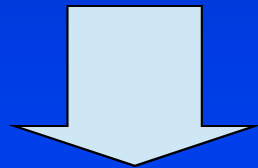
健やかな未来社会を創造する」

平成24年度事業所ミッション

「委員会活動の充実」



立候補制による公募活動



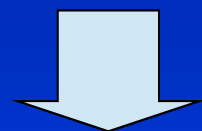
委員会体制再編

大きくメンバーチェンジ！

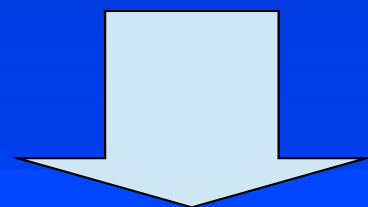
委員会再編前の身体拘束対象者数

平成23年度（4月～翌3月）

年度目標：「身体拘束0件を目指す」
と大きな目標を立てたが・・・



身体拘束対象者：5名（実人数4名）



とても至らず、未達成・・・
（3名は入所中に解除できたが・・・）

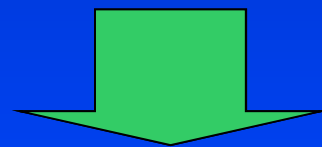
そこで、考えてみた。

たしかに、緊急止むを得ないから実施しているが…

毎月の委員会で検証し検討しているのだが…

身体拘束の基準も確認し、
年に一度は勉強会を行っているが…

何故目標は達成されないのだろうか？



身体拘束を行わないケアを実践するためには、
まずは「身体拘束」を知る必要があるのでは？

委員会再編後（平成24年度）の活動

※前段階として…

平成24年3月にそれまで蓄積した知識を集約させる形で資料に反映させ内部研修を実施

※8月の再編後は・・・

- 1：まずは委員へ向けて内部研修を実施
- 2：「これって身体拘束？」と感じる事例を収集
- 3：疑問事例を検討し、委員会としての見解を決定
- 4：委員が外部研修へ参加
- 5：外部研修をふまえ、委員が資料作成
- 6：スタッフへ内部研修を実施
(講義に参加できなかったスタッフに向けて
書面開催も実施)

「これって身体拘束？」とスタッフから 疑問が寄せられたほんの一例

- ・ 臥床時、転倒リスクがある方に対してベッド脇に車椅子を置く行為（足元側）は該当するのか？
- ・ テーブルなどを押して後ろへのけぞる行為がある方に対して、後ろがカベなどの位置に座っていただき、のけぞれないようにする行為は該当するのか？
- ・ 立ち上がりの多い利用者にソファに座っていただいたりすることは該当するのか？
- ・ 無理やり（半強制的に）座らせる行為はある意味では拘束になるのでしょうか？
- ・ 「ちょっと待って」などの声かけは？

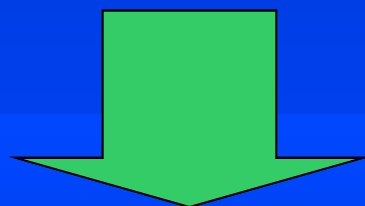
などなど・・・。みんな悩んでいる。

委員会再編後の身体拘束対象者数

平成24年度（4月～翌3月）

年度目標：（昨年の反省を踏まえて気を取り直し）
「身体拘束に対する正しい認識・対応を浸透させる」

身体拘束対象者：1名

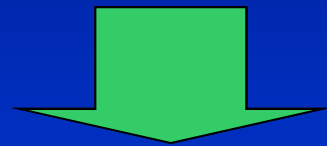


悔しいが、あと一歩...

そこで、再び考えてみた。

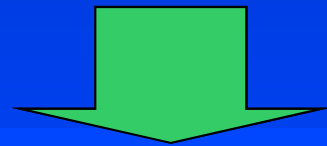
何もしなければ、基準や知識を記憶し続けたり
常に意識していることは難しいのでは？

⇒常に疑問を感じて考え続けることが必要では？



そうだ！今年は悩み続け、考え続けよう！！

⇒啓蒙活動（周知活動）をやろう！



5月～10月まで計6回、事例検討や穴埋め問題を出題。

（スタッフは大変だったと思うが・・・）

啓蒙（周知）活動の一例



今回は、“**身体拘束に該**

第三者

また、ご利用者様がある日、

上記写真の対応を見て、どのような事でもよいので思った事、感じた事を
些細なことでも結構ですのでご記入下さい。宜しくお願い致します。

リハビリ
行ってい

啓蒙（周知）活動の反響の一部

- ・ 身体拘束について、色々考えるきっかけになった。
- ・ 振り返りの機会になって良かったと思う。
- ・ 1つ1つの事例検討をして考えていくことで、自分としても色々日々の業務を見直したり考えたりすることができよかったと思った。
- ・ スタッフの抑制に対する意識がかなり向上したと感じる。
- ・ どのような行為が身体拘束にあたるのか、再認識できる良い機会となった。

このような評価を得た一方で・・・

- ・ すごい勉強になったが、答えがわからない。
- ・ 問題に対して、結果として何が正解なのか、逆に何がいけないのか、ということを委員会として明示してほしかったと思う。
- ・ 毎月の課題はちょっと負担になる・・・かな。

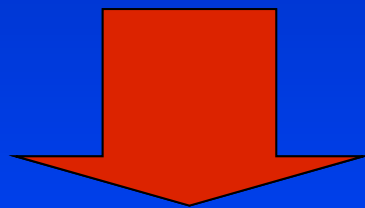
という意見もありました・・・。

委員会再編後の身体拘束対象者数

平成25年度（4月～翌3月）

年度目標：（昨年あと一歩だったので今年も）
「身体拘束に対する正しい認識・対応を浸透させる」

身体拘束対象者：ゼロ名



開設以来初の快挙！！
念願達成！！
活動の成果と思いたい・・・。

終わりに

委員会活動の成果

施設全体での教育

勉強会

啓蒙（周知）活動

委員会での活動

基準確認

内部勉強会

疑問ケース収集

外部研修参加

常に悩み、考え続ける。

身体拘束ゼロへ！

ご清聴ありがとうございました。